環境シンポジウム 8月25日(土)

参加無料 どなたでもご参加いただけます。

【会場】鳥海温泉 遊楽里(ゆらり)

16:00〜16:30 開会式

16:30〜17:15 基調講演
「走って治す!」川島 実(医師・僧侶)

17:15〜18:00 トークセッション
「鳥海山のつながり」

パネリスト

川島 実
Minoru Kawashima
医師・僧侶

1974年生まれ。奈良市出身、京都大学医学部卒。2000年、プロボクシングで西日本新人王。引退後、自給自足を目指して山奥で暮らした時に僻地医療と出会い、その後も居を転々としながら救急、地域医療を学ぶ。2011年、東日本大震災をきっかけに気仙沼市立本吉病院院長に就任。その後家庭の事情で退職。現在はフリーランスとして日本各地の医療、介護を学んでいる。ご縁のある東大寺で得度し、華厳宗の在家僧侶でもある。

辰野 勇
Isamu Tatsuno
SEA TO SUMMIT® 連絡協議会理事長
モンベルグループ代表

1947年大阪府生まれ。1975年に株式会社モンベルを創業、現在代表取締役会長。アイガー北壁日本人第2登、カヤックでの黒部川源流〜河口までの初下降など、数々の記録を持つ冒険家でもある。身障者カヌー大会「パラマウント・チャレンジカヌー」の開催や、阪神淡路大震災、東日本大震災時の「アウトドア義援隊」結成など、社会活動、災害支援活動などに力を注ぐ。山岳雑誌『岳人』編集長を務める。

モデレーター

阿部 英明
Hideaki Abe
株式会社福祉のひろば 代表取締役社長

1974年生まれ。酒田准看護学院卒業後、両親が訪問入浴介護で創業した有限会社庄内入浴サービスへ入社。1998年に株式会社福祉のひろばへ改称。
現在同社代表取締役社長を務める。現在は健康寿命の時代を見据えてフィットネス・ヨガ事業に取り組み、常に時代のニーズを先取し新しい価値創造を追究している。一般社団法人 パワーリハビリテーション研究会 東北支部 事務局長。

18:00〜18:30 大会説明

会場案内・アクセス

大会受付・大会スタート地点

【会場】**西浜海岸**

開会式・環境シンポジウム・閉会式・抽選会

【会場】**鳥海温泉 遊楽里(ゆらり)**(鳥海文化ホール)

山形県遊佐町吹浦字西浜2-76 【TEL】0234-77-3711

- 庄内空港から国道112号線、国道7号線を秋田方面へ約35km
- 山形自動車道・酒田みなとICから国道7号線を秋田方面へ約15km
- 日本海東北自動車道・象潟ICから仁賀保本荘道路、国道7号線を酒田方面へ約20km
- JR吹浦駅から約1km

[お問い合わせ]
SEA TO SUMMIT® 連絡協議会 事務局(株式会社モンベル 広報部内)
TEL 06-7670-3186 FAX 06-6531-5536 〒550-0013 大阪市西区新町2-2-2

オフィシャルウェブサイト
http://www.seatosummit.jp/

全大会でもっとも過酷なコース

SEA TO SUMMIT® の全大会の中でも一番のハードコース。
その標高差はなんと2160m! 大自然の中で、自分の限界に挑戦してみたい方はぜひご参加を。高山植物や日本海の絶景も楽しめます。

海・里・山のつながりに思いを巡らせながら自然を体感!

環境スポーツイベント シー トゥー サミット®

2018 SEA TO SUMMIT®

8/25(SAT)・26(SUN) 山形県・秋田県

Mt. CHOKAI **鳥海山**

山形県・秋田県 鳥海国定公園(モンベルフレンドマウンテン鳥海山)

大会プログラム

KAYAK 4km

BIKE 21 km

HIKE 7 km

主催/鳥海山SEA TO SUMMIT® 実行委員会(事務局:NPO法人元気王国)
後援/観光庁・スポーツ庁・環境省東北地方環境事務所・山形県・秋田県・山形県教育委員会・遊佐町・にかほ市・由利本荘市・酒田市・NPO法人遊佐鳥海観光協会・にかほ市スポーツイベント開催実行委員会・(一社)酒田観光物産協会・由利本荘市観光協会・鳥海山大物忌神社・(株)山形新聞社・(株)秋田魁新報社・(株)河北新報社・鳥海山飛鳥ジオパーク推進協議会・ジャパンエコトラック推進協議会

オフィシャルウェブサイト
http://www.seatosummit.jp/

※「SEA TO SUMMIT / シートゥーサミット」は株式会社モンベルの登録商標です。

JAPAN ECO TRACK スポーツ庁 観光庁 Japan Tourism Agency GOOD LIFE AWARD COOL CHOICE

鳥海山 SEA TO SUMMIT®2018 大会に寄せて

SEA TO SUMMIT®
連絡協議会理事長
モンベルグループ代表
辰野 勇

「鳥海山 SEA TO SUMMIT®」はご参加される選手やサポーター、地元秋田県・山形県の皆様の協力のもとに第8回目を開催する運びとなりました。

鳥海山の美しい自然のもと、全国からアウトドアスポーツを愛好する人々が集います。1日目の環境シンポジウムに始まり、2日目は日本海からスタートして、それぞれのペースで自然の循環を肌で感じながら、カヤック・自転車・登山で鳥海山の頂上を目指します。

自然の循環を感じる環境スポーツイベントとして始まった「SEA TO SUMMIT®」。そのコンセプトを元に、365日いつでも快適な旅やアクティビティを楽しめるエコツーリズムの取組み「ジャパンエコトラック」も各地で始まっています。「SEA TO SUMMIT®」にご参加いただいた後にも、ぜひまたこの鳥海山を訪れていただき、四季折々の魅力を感じていただきたいと思います。

海・里・山――――。

「SEA TO SUMMIT®」は人力だけで海から頂上を目指し、大自然を全身で感じながら汗をかき、人と自然のかかわり方の在るべき姿を改めて考える大会です。そんな時間を皆さんと共有したいと思います。

鳥海山 SEA TO SUMMIT®
実行委員長
NPO法人 元気王国 理事長
佐藤 香奈子

「海から山へ、鳥海山―」
海を生活の場としてきた私たちの先祖は、鳥海山を観ることで気象や位置を知ったでしょう。鳥海山を祈りの場として、高みを目指してきた私たちの先祖は、海に浮かぶ飛島を観て祈りの象徴としたことでしょう。

「鳥海山 SEA TO SUMMIT®」は、皆様のおかげで今年で8回目となりました。秋田・山形にまたがる名峰鳥海山をステージに、両県はもちろんのこと、遊佐町、由利本荘市、にかほ市、酒田市の3市1町の皆様方にご支援をいただき、何とか続けてこられたのだと実感しております。そして何より参加してくださる皆さん、本当にありがとうございます。たくさんの皆様に支えていただくこの大会を私たちも一緒に楽しみながら過ごしたいと思います。二日間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

秋田県知事
佐竹 敬久

「鳥海山 SEA TO SUMMIT®」が盛大に開催されることを心よりお喜び申し上げますとともに、全国からお越しいただいた皆様を、秋田県を代表して心より歓迎申し上げます。

本大会の舞台となります鳥海山を核とする環鳥海地域では、獅子ヶ鼻湿原や桑ノ木台湿原に代表される豊かな鳥海山の自然を活用した観光誘客に取り組んでいるほか、にかほ市や由利本荘市、酒田市が北前船寄港地として日本遺産に認定されるなど、歴史的なつながりも強い地域であります。こうした地域の中心である鳥海山において、カヤック、自転車、登山により自然の循環を体感しながら、人と自然の共生について考える本大会が開催されますことは、大変すばらしい取り組みであると考えております。

秋田県には、「あきたこまち」に代表されるお米やお酒、農畜産物、海産物等、数多くのおいしいものがあり、ここ鳥海山周辺の由利地域には、全国的にも有名な日本酒や、由利牛、リンゴなどの特産品があります。特に、この時期が旬の「岩ガキ」は、鳥海山の伏流水の恵みを取り込んだ絶品であります。これらの豊かな自然の恵みや歴史・風土に触れて英気を養い、競技の疲れを癒やしていただきたいと思います。

結びに、本大会の開催にあたり御尽力いただきました実行委員会及び関係各団体の皆さまに深く感謝申し上げますとともに、選手の皆さまの御健闘をお祈りし、歓迎の挨拶といたします。

山形県知事
吉村 美栄子

「鳥海山 SEA TO SUMMIT®」の開催、誠におめでとうございます。
本大会が、今年も名峰「鳥海山」を舞台に開催されますことは、大変喜ばしく、全国各地から御参加いただきました皆様を心から歓迎申し上げます。

出羽富士と称され、日本百名山に名を連ねる「鳥海山」は、秀麗な山容を誇り、四季の彩りも鮮やかで、山形県と秋田県にまたがる両県の貴重な山岳観光資源であります。御参加の皆様には、広大な日本海から美しい大地を駆け抜け、この鳥海山の山頂へと至る雄大なコースを通して、豊かな自然を全身で体感していただくとともに、自然と人との共生を考える機会としていただければ幸いです。

日本海に面するここ庄内地域は、日本有数の米どころである庄内平野や、美しい夕日を望む庄内浜を有し、「つや姫」をはじめとする美味しいお米、メロンなどの果物、日本海で育まれた魚介類、そして鳥海山の清らかな水によって醸される日本酒など、多種多様な「美食」「美酒」を誇る地域であります。

山形県では、庄内地域をはじめ、全県に拡がるこれらの優れた地域資源である「美食」「美酒」と、温泉、歴史・文化、秀麗な山々や滝などの豊かな自然、各地で開催される祭りや本大会のようなスポーツイベントなど、多様な観光素材を組み合わせ、魅力アップを図りながら、国内外に向けた戦略的な誘客事業を展開し、交流人口の拡大を目指しております。

本大会を契機に、皆様にも山形県や環鳥海地域の魅力を存分に満喫していただければと思います。

結びに、本大会の開催に当たり御尽力いただきました大会関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様の御健闘をお祈り申し上げ、歓迎の挨拶といたします。

鳥海国定公園
観光開発協議会会長
遊佐町長
時田 博機

「鳥海山 SEA TO SUMMIT®」に全国各地から参加された皆様、ようこそおいでくださいました。環鳥海の自治体3市1町を代表し、心より歓迎申し上げます。

鳥海山は日本海からそびえ立つ独立峰で、潮風薫る海岸や実り豊かな平野からは秀麗な山容が見渡せ、また登山道の各所からは雄大なパノラマとなって日本海を眼下に見ることができます。まさに「SEA TO SUMMIT®」の名のとおり、海から里へ、そして山への自然の移り変わりや魅力を最も感じることができる山だと自負しております。この日本海から山頂に至るコースで、カヤック・自転車・ハイクに挑む皆様が、この地域の魅力を全身で感じて楽しんでいただき、自然への感謝と感動があふれる大会にしていただきたいと思います。

また現在、環鳥海の3市1町では、「日本ジオパーク」に認定された「鳥海山・飛島ジオパーク」の充実に向け「Touch!ふれる・楽しむ・好きになる」を合言葉に地域が一丸となって活動を進めています。ぜひ皆様からは、このエリアの魅力ある自然や文化・歴史のスポットを見て、ふれて、味わっていただき、より思い出深い大会にしていただけたら幸いです。

最後に、この大会のために、特にご尽力をいただきました株式会社モンベルの辰野会長はじめ、佐藤香奈子実行委員長、ならびに多くのスタッフの皆様に敬意を表するとともに、さらに「SEA TO SUMMIT®」が発展することをお祈りし、歓迎の挨拶といたします。

鳥海山 SEA TO SUMMIT® 2018
開　催　要　項

主　催　鳥海山 SEA TO SUMMIT®実行委員会（事務局／NPO法人 元気王国）

後　援　観光庁、スポーツ庁、環境省東北地方環境事務所、山形県、秋田県、山形県教育委員会、遊佐町、にかほ市、由利本荘市、酒田市、NPO法人遊佐鳥海観光協会、にかほ市スポーツイベント開催実行委員会、（一社）酒田観光物産協会、由利本荘市観光協会、鳥海山大物忌神社、（株）山形新聞社、（株）秋田魁新報社、（株）河北新報社、鳥海山飛鳥ジオパーク推進協議会、ジャパンエコトラック推進協議会

協　賛　株式会社モンベル、株式会社SUBARU
株式会社ウェザーニューズ、教えて!「かくれ脱水」委員会、日本ゴア株式会社、大山ハム株式会社、ナイトアイズ、日本航空株式会社、株式会社ビクセン、プロトレック、株式会社むそう商事、アリスト販売株式会社、株式会社ヤマップ、アドベンチャー・テクノロジー、バイオライト、ガーバー、グレイル、ヘリノックス、ヒューマンギア、ジェットボイル、クピルカ、ラフウェア、サン、トランゴ、井村屋株式会社、鳥海国定公園観光開発協議会、酒田米菓株式会社、庄内風力発電株式会社、株式会社庄内環境エネルギー、加藤総業株式会社、ビット・パーク株式会社（順不同）

大会期日　**2018年8月25日（土）－8月26日（日）**

会　場
8月25日　西浜海岸（大会受付）、鳥海温泉 遊楽里（ゆらり）（開会式・環境シンポジウム）
8月26日　西浜海岸（スタート）、鳥海温泉 遊楽里（閉会式）
【海のステージ（パドルスポーツ）】西浜海岸→吹浦港防波堤内2周→西浜海岸（約4km）
【里のステージ（ バイク ）】西浜海岸→駒止→鉾立駐車場（約21km）
【山のステージ（ ハイク ）】鉾立駐車場→御浜神社→鳥海山大物忌神社〔山頂御本社〕（約7km）

定　員　先着300名（募集人数に達し次第、受付を終了します）

参加費
［シングルの部］ 税抜き料金¥10,500（税込¥11,340）
［チームの部］ 税抜き料金¥10,500（税込¥11,340）×人数
※参加費には［環境保全協力金¥500］を含む

参加資格
●シングルの部:高校生以上　チームの部:中学生以上
●健康な方で、参加者全員分のカヤック装備（パドル・ライフジャケット・フラッグの装着を含む／SUPの場合リーシュコード必須）、自転車装備（ヘルメットを含む）、水分補給のための給水用装備（ハイドレーション・システムなど）を用意できる方
●大会事務局より大会参加承認を受けた方
※病弱、心臓に障害のある方は参加できません。
※高校生以下の参加には保護者の同意が必要です。
※年齢は大会当日を基準とします。

日　程

8月25日（土）
【会場】西浜海岸
13:00～15:30　大会受付
カヤック・自転車搬入
※受付終了者に限る。
【会場】鳥海温泉 遊楽里
16:00～16:30　開会式
16:30～18:00　環境シンポジウム（→詳細P.8）
18:00～18:30　大会説明

8月26日（日）
【会場】西浜海岸
5:00～5:30　参加者集合
5:30～　大会スタート
【会場】鳥海温泉 遊楽里
17:00～　閉会式・抽選会
18:30　終了
※天候およびコースの状況により変更になる場合があります。

制限時間
●10:30までに御浜神社（登山コース約3.5km地点）
●11:10までに七五三掛（しめかけ）（登山コース約5.0km地点）
●13:00までに鳥海山大物忌神社にフィニッシュすること
（10:30までに御浜神社にたどり着けなかった参加者は、御浜神社にて棄権とする）
※詳しくは次ページの地図をご覧ください。

鳥海山 SEA TO SUMMIT®2018　コース全体図

【応援サポーターの方へ】路上駐車、自動車による自転車との併走は他の方のご迷惑となりますので、ご遠慮ください。
各応援ポイントの最寄りの駐車場 P をご利用ください。

8月26日 日

大会コースとチェックポイントのご案内です。応援ポイントなどもご紹介しておりますので、ぜひ参考にしてください。

鳥海山地方の気象情報
（協力：株式会社ウェザーニューズ）

weathernews

大会コースの主要ポイントの天気や風、波の高さなど気象情報をご案内しています。

http://weathernews.jp/s/pinpoint/seatosummit/?area=chokai

鳥海山大会のコースマップ
（協力：株式会社ヤマップ）

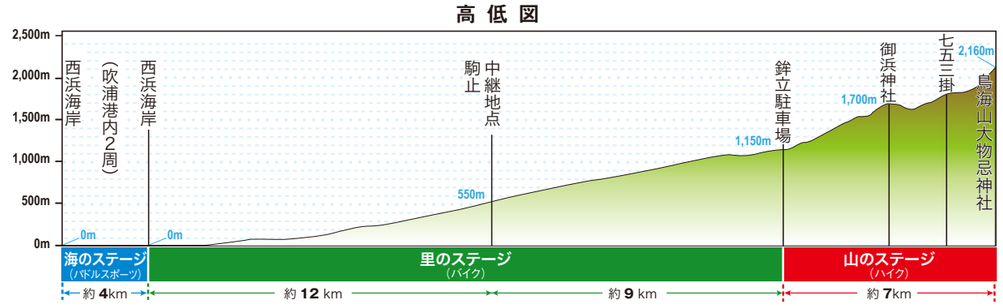
YAMAP

コースや主要ポイントを網羅した大会専用地図が、YAMAPアプリにて無料でご利用いただけます。

※事前にYAMAPアプリをダウンロードし、会員登録のうえ、ご利用ください。

https://yamap.co.jp/map/6644

高低図



39.0670°N　139.8727°E	39.0132°N　139.9529°E	応援ポイント	39.1219°N　139.9905°E	39.0670°N　139.8727°E	39.0976°N　140.0487°E
西浜海岸（大会スタート地点）	駒止	大平山荘	鉾立駐車場	御浜神社 ※選手交代はありません	鳥海山大物忌神社〔山頂御本社〕
【応援目安時間】5:30-7:00	【応援目安時間】6:30-8:30	【応援目安時間】7:00-10:00	【応援目安時間】7:30-10:30	【応援目安時間】9:00-10:30	【応援目安時間】11:00-13:00

※天候およびコースの状況により変更になる場合があります

チェックポイント　エイドステーション　応援ポイント　トイレ　自転車メンバー交代可能地点　駐車場

SEA TO SUMMIT

鳥海山 SEA TO SUMMIT®2018　協賛団体（順不同）

株式会社モンベル
https://www.montbell.jp/

総合アウトドア用品メーカー。「FUNCTION IS BEAUTY（機能美）」「LIGHT & FAST®」をコンセプトに、高機能な登山用品、アウトドア用品の開発・製造・卸・販売を行っています。

株式会社SUBARU
https://www.subaru.jp/lifeactive/

2017年4月1日より、富士重工業株式会社から株式会社SUBARUへ社名変更し、「モノをつくる会社から、笑顔をつくる会社へ」生まれ変わりました。これからも人生をアクティブに愉しむ人々を応援し続けます。

大山ハム株式会社
http://www.daisenham.co.jp/

2013年ドイツ農業協会（DLG）主催国際品質競技会金賞受賞の「カントリーロースト（スライス）」を中心に、丹念に造り上げたハム・ソーセージ・ベーコンを食卓にお届けします。

バイオライト
http://www.biolitestove.jp/

ガソリンなどの化石燃料を使わなくても、強力で安定した焚き火ができ、さらに発電も可能という画期的なキャンピング・ストーブを開発。ソーラーチャージャーやライティンググッズなど、電気の力でアウトドアをもっと快適にします。

ヘリノックス
http://www.helinox.jp/

優れた強度と柔軟性を持つアルミニウムポールを採用した超軽量・コンパクトなチェアやテーブル、コットなど、革新的なアイテムを生み出すアウトドア・ファーニチャーのブランドです。

ヒューマンギア
http://www.humangear.com/

「ゴーバイト」や「ゴートゥーブ」など、アウトドアやトラベル・シーンを快適にする、シリコーン製容器や、丈夫で軽量なカトラリー・シリーズなどユニークなアイテムを取りそろえた、アメリカ発のブランドです。

株式会社ビクセン
http://www.vixen.co.jp/

ビクセンは60年以上にわたって、双眼鏡、天体望遠鏡、ルーペなどを製造している光学機器のメーカーです。レンズ越しに広がる美しい星空や、新しい眺めを、より多くの人に楽しんでいただきたいと願っています。

アリスト販売株式会社
http://www.arist.co.jp/

「メダリスト」はクエン酸サイクルに基づき開発された、10年以上の実績を誇る回復系飲料のロングセラー。1ℓに梅干し約12個分のクエン酸とアミノ酸、ビタミン、ミネラルなど40種類の成分を配合しています。

株式会社ウェザーニューズ
http://weathernews.jp/

グローバルに展開する気象情報会社。スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」や24時間お天気情報番組「SOLiVE24」を通して、地震・津波の発生や大雨などによる災害リスクをいち早くお伝えします。

ラフウェア
http://www.ruffwear.jp/

犬と一緒にアウトドア・アクティビティを楽しむことを提案し、その実現のためにさまざまなギアやウエアを製造しています。

ガーバー
https://www.gerbergear.com

アメリカ・オレゴン州ポートランド生まれ。フォールディングナイフからマルチツールまで幅広い種類のナイフを製造しています。

グレイル
https://www.thegrayl.com

アウトドアにおいて安全な水を素早く確保できる浄水ボトルブランドです。

プロトレック
http://protrek.jp/

いかなる状況下でも、すばやく自然を感知する本格アウトドアギアとしてのユーザビリティを追求し、常に進化を続ける時計ブランドです。さまざまなフィールドへの挑戦をプロトレックがサポートします。

株式会社むそう商事
http://www.muso-intl.co.jp/taste_of_nature.php

オーガニック食品・原材料の輸入卸売業。サクッと歯ごたえの良い玄米パフとナッツにドライフルーツの酸味がクセになる美味しさ「オーガニックフルーツ&ナッツバー」を提供しています。

ナイトアイズ
http://cmoon.biz/

1989年、ロッキーマウンテンの麓、コロラド州ボールダーで創業し、日常生活からアウトドアまで、よりシンプルに、より安全に、そして少しでも皆が楽しくなるような商品を開発し続けています。

クピルカ
https://kupilka.fi/ja/

フィンランド生まれのクピルカは「小さなカップ」という意味を持ち、自然と手になじむようにデザインされています。耐久・耐熱性に優れ、お手入れも簡単。アウトドアに最適です。

サン
https://suncompany.net/

アウトドアの中で役立つ斬新なアイデアを持った小物を、1971年から次々と世に送り出しているユニークなアクセサリーメーカーです。

トランゴ
http://www.trango.co.kr/

ユニークかつ高品質の商品が世界中のクライマーから注目を集めるクライミングブランド。カラビナなどのクライミング用品を取り扱っています。

教えて！「かくれ脱水」委員会
http://www.kakuredassui.jp/

深刻な脱水状態の一歩手前を「かくれ脱水」と名づけ、脱水に対する正しい知識と予防方法・対処方法を伝えています。私たちは、深刻な脱水状態を防ぐことで熱中症で搬送される人をゼロにしたい。

日本ゴア株式会社
http://www.gore-tex.jp/

耐久防水性、防風性、透湿性を併せ持つ機能性素材GORE-TEX®ファブリクスの製造メーカー。GORE-TEX®プロダクトは、気候の変化から体を守り、アウトドアでの活動をより快適なものにします。

日本航空株式会社
https://www.jal.com/ja/

「世界で一番お客さまに選ばれ、愛される航空会社」を目指し、一人一人のお客さまへのおもてなしの心を大切に、世界に先駆けた挑戦を重ね、常に新しい価値を創造しています。

井村屋株式会社
https://www.imuraya.co.jp/

井村屋がつくるようかんは、スポーツシーンでも活躍します。「スポーツ」と「ようかん」。意外な組み合わせに思えますが、「高糖質・低脂肪」なようかんはアスリートの栄養補給にぴったり。ようかんの可能性を実感してください。

鳥海国定公園観光開発協議会
http://www.chokaizan.com/

鳥海国定公園およびその周辺地域の観光振興および観光資源の保護に関する施策を推進しています。

酒田米菓 株式会社
http://www.sakatabeika.jp/

昭和26年創業から米菓を主軸としたスナックメーカーとして、東北を中心にせんべい商品を提供してまいりました。酒田米菓株式会社は、「SEA TO SUMMIT®」を応援します。

株式会社ヤマップ
https://yamap.co.jp

国内最大級の登山・アウトドアアプリ「YAMAP（ヤマップ）」。コースや主要ポイントを網羅した大会専用地図が、YAMAPアプリにて無料でご利用いただけます。ルート確認や思い出の記録にご活用ください。

アドベンチャー・テクノロジー
http://www.canoeing.jp/

人間工学を追求したベントシャフトパドルのノウハウで特許を持つパドルブランド。ホワイトウォーターからツーリングまで幅広く展開しています。

ジェットボイル
http://www.jetboil.jp/

アメリカで数多くの賞をおさめた、アウトドア用調理器具ブランド「ジェットボイル」。保温クッカーと熱効率の高いストーブがセットになった、簡単便利・軽量・コンパクトな製品を生み出しています。

庄内風力発電株式会社
株式会社庄内環境エネルギー
加藤総業株式会社

庄内地方沿岸部において、クリーンエネルギーである「風」を利用した風力発電事業に取り組み、地球環境にやさしい社会づくりを推進していきます。私たちは「SEA TO SUMMIT®」を応援します。

ビット・パーク株式会社
http://co4.bitpark.co.jp/

小型GPS端末「ここココ」。鳥海山SEA TO SUMMIT®ではアウトドアイベント用にカスタマイズされた「ここココEvent Assist」が採用。現在地・移動経路の把握などスムーズで安全なイベント運営をサポートします。

■実行委員会
NPO法人元気王国／NPO法人極楽鳥海人／株式会社モンベル

■協力
遊佐町鳥海山観光ガイド協会／鳥海山岳会／八幡山岳会／にかほ市観光案内人協会／鳥海やわたインタープリター協会／鳥海山グルッと一周MTBサイクリング実行委員会／シーカヤッククラブ　遊快倶楽部／ダイビングショップ　2nd Reef／S.M.A.R.T／上ノ山自転車